

競技注意事項

本大会は2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、大会要項及び下記事項により実施する。
本大会は（公財）日本陸上競技連盟、並びに（一財）日本実業団陸上競技連合の広告規程を適用する。

1. 競技場への入場は東側ゲート、退場は西側ゲートを通りスタンドに帰ること。
2. 招集について
 - (1) 招集所は東側砂場付近とする。
 - (2) 招集時間はトラック競技20分前、フィールド競技は30分前に招集を完了すること。
3. 予選の必要がなくなった場合は決勝時刻に決勝を行う。
4. バーの上げ方
 - 走高跳（男） 1m80より1m95までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
 - （女） 1m40より1m65までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
 - 棒高跳（男） 4m10より5m00までは20cm刻み、以降は 10cm刻み
 - （女） 3m60より4m40までは20cm刻み、以降は 10cm刻み
5. 競技用靴はTR5.2に基づきスパイクは11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで少なくとも長さの半分以上は4mm四方の定規に適合しなければならない。また、シューズ底の厚さは現行通りとし、事前の検査は行わないがエリア記録・日本記録以上の新記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。
6. 競技前、競技中に審判員が疑義を抱いた競技用靴については、競技後に審判長の権限で検査を実施することがある。
7. 競技用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、個人所有のハンマー、円盤、砲丸、やりの使用を希望する者は、その種目の競技開始時刻1時間前までに係員に器具の検査を受け、合格したものに限り許可する。
8. 表彰は、決勝終了後、直ちに行う。優勝者は速やかに本部前に集合すること。2位・3位の入賞者は表彰状を本部へ受け取りに来ること。（但し、5000m・10000mの表彰は5月15日（日）に行なう）
9. アスリートビブスは、所定のを必ず胸背につけること。但し、跳躍種目の場合は胸・背のどちらかに付けるだけでもよい。
（アスリートビブス及び腰ビブスは、競技者係が配布するが、フィニッシュ直後係員に返却すること。）
また、タイツを使用し出走する場合は性質上通気性が良く、腰ビブスが非常に剥がれやすくなっている為、安全ピンを持参し使用すること。
10. リレーオーダーは、招集完了時刻の60分前までに競技者係へ提出すること。
11. 男子5000m以上は出場人数が多いのでグループスタートとすることがある。
12. トラック種目で参加人数が9名以上でも男子100m以外はタイムレースとする。
13. 競技中「助力」を受けてはならない。（競技規則：TR6）
14. 携帯電話、ラジオ、CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
15. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
16. 各チームは選手の健康管理について十分留意すること。競技にともなう事故等については、主催者は応急処置のみ行うが以後の責任は負わない。
17. その他、必要事項はその都度アナウンスにより伝達するので注意すること。
18. ゴミは各自の責任において持ち帰るようにすること。